

各位

デンカ株式会社

青海工場に高効率ガスタービン発電機を竣工
～約40億円の環境投資で年間16,000t以上のCO₂を削減～



＜青海工場の高効率ガスタービン発電機＞

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本 学）は、ESG 経営に基づく温室効果ガス排出削減に向けた取り組みとして、クロロプレンゴムやセメント・特殊混和材等の製造拠点である青海工場（新潟県糸魚川市）に、新たに自家発電用の高効率ガスタービン発電機を竣工しました。これまで青海工場で使用していた火力発電設備を高効率ガスタービンに置き換えることで、発電効率が従来比で約25%向上します。これにより年間8,000kL(原油換算)以上の燃料使用量が削減され、16,000 t以上の温室効果ガス(CO₂)排出を削減します。

当社は化学メーカーの責務として、パリ協定(*1)を念頭に置き中長期の温室効果ガスの排出量削減目標(*2)を策定しています。16,000 t以上の温室効果ガス(CO₂)排出削減によって、当社が中期目標で掲げる全削減量の約3%、エネルギー起源の排出削減量の約6%に相当する削減効果が見込まれます。十分な排出削減・省エネ効果を達成できることから、経済産業省より約5億円の補助金交付(エネルギー使用合理化等事業者支援事業)の採択を受けております。

中長期的な温室効果ガス排出削減に向けたクリーンエネルギーの利用拡大の取り組みの一環として、現在、千葉工場(千葉県市原市)においても、高効率ガスタービン発電機を導入し年間約12,000t以上のCO₂削減を目指しています。さらに、新潟県の姫川と青海川で建設中の2ヵ所の水力発電所が稼働することで年間約35,000tのCO₂を削減し、青海工場での削減分とあわせて年間63,000t以上のCO₂を削減いたします。

当社はSDGsを羅針盤に、今後も環境保全・保護に関する取り組みを進め、地球環境に配慮した企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

1. 竣工したガスタービン発電機の概要

- ・最大出力：約 16,000kW×1 台
- ・総合効率：約 85%
- ・温室効果ガス排出削減量：約 16,000t-CO₂/年 以上
- ・エネルギー削減量：原油換算 約 8,000kL/年 以上
- ・総投資額：約 40 億円

2. 2020 年度連結業績への影響

本件による当社 2020 年度連結業績への影響はございません。

3. 青海工場概要

- ・所在地：新潟県糸魚川市大字青海 2209 番地
- ・主要製品：クロロブレンゴム、ポパール、カーバイド、石灰窒素、アルミナ繊維、セメント、特殊混和材、高分子ヒアルロン酸製剤、超高純度モノシラン など
- ・従業員数：約 1,000 名

(*1) パリ協定

2015 年 12 月にフランスのパリで開催された第 21 回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、2020 年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みとして採択された協定。

(*2) 当社の温室効果ガス排出量の削減目標について

- ・中期目標：2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度に対して 26%削減する。
（全削減目標 610,000t-CO₂ の内、エネルギー起源の排出量についての削減量 260,000t-CO₂）
- ・長期目標：2050 年度までに実質の排出量(※)を 2013 年度に対して 85%削減する。
※実質の排出量とは、排出量から吸収量を差し引いた値とする。

【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

- ・2020 年 8 月 31 日 「温室効果ガスの排出量削減目標達成に向け約 37 億円の環境投資を決定
～高効率ガスタービン発電機導入により年間 12,000t 以上の CO₂ を削減～」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/761/20200831_denka_greenhousegas_reduction.pdf
- ・2017 年 2 月 15 日 「黒部川電力株式会社 新規水力発電所建設について」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/447/20170215_shinhimeroku.pdf
- ・2014 年 10 月 17 日 「糸魚川市での新水力発電所起工式開催について」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/295/20141017_shin_omigawah.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部

電話：03-5290-5511